

# 全国湧水情報収集調査結果（概要）

平成 18 年 3 月

## 1. 調査の背景と目的

湧水は古くから地元の人々の生活用水や農業用水として大切に使われてきており、中小河川の水源となっているものもあります。また、都会にある湧水は人々にとってうおいとやすらぎの場として重要な水辺となっています。

これまでいくつかの地方公共団体においては、独自の取組として、湧水の実態調査や優れた湧水の選出、湧水及びその周辺地域の保全活動が進められてきていますが、全国的には湧水の所在情報の把握すら必ずしも十分には行われていない状況にあると推察されます。

第三次環境基本計画における「環境保全上健全な水循環の確保」では、湧水が多くの地域における身近で大切な水環境であり、水循環が健全であることの象徴ともいえるものと位置付け、「湧水の把握件数」を計画の取組推進に向けた指標項目として挙げています。

この調査は、地方公共団体等が把握している湧水に係る情報を収集・整理し、全国の湧水情報データベースとして広く情報提供を行うとともに、湧水保全に係る現状、課題を整理し、今後の施策の方向性を検討したものです。

## 2. 調査・検討内容

### (1) 全国の都道府県・市区町村を対象とするアンケート調査の実施

地方公共団体が把握している湧水の保全に係る活動状況、湧水の保全に関する条例、及び地方公共団体によりこれまで把握されている湧水の状況等に係る情報アンケート方式とヒアリングにより収集・整理を行いました。

### (2) 地方ブロック単位での情報共有化と意見集約

情報共有と意見集約を目的に、地方公共団体を対象として環境省の各地方環境事務所が主催して、湧水の保全に関する連絡会議を開催しました。

この連絡会議を経て、各都道府県における取組状況、先進的な自治体による保全活動等のプレゼンテーション等を踏まえて、参加者による自由な意見交換により、湧水保全を促進する方策に関する意見を取りまとめました。

### (3) 湧水の保全に関するウェブサイトの開設

アンケート調査の結果等を広く提供し、湧水の保全に取り組む関係者間の情報共有に資するよう環境省HPに湧水の保全に関するウェブサイトを開設しました。

このウェブサイトは、関係者の協力を得つつ、湧水に関する最新の情報交換ツールとすべく逐次充実させていく予定です。

### 3. 検討成果

#### (1) 湧水保全に関する現状と課題点

全国の地方公共団体を対象としたアンケート調査、地方ブロック単位で実施した情報交換会により、全国的規模からみた湧水保全に係る現状と課題点が明らかになってきました。この詳細は、湧水保全に関する情報共有を目的として、環境省ホームページ上に湧水の保全に関するウェブサイトを開設し、内容を掲載しています。

( <http://www.env.go.jp/water/yusui/> )

現在まで湧水の位置付けが法、制度等で明確になっておらず、実態把握が不足していたこともあって、次図に示すように相互に関連した様々な課題があります。

具体的には、実態把握の方法、湧水の捉え方、把握できている湧水の状況の調査方法、関連する保全活動の展開方法、行政の関与の仕方等について検討し、取組を進めていくことが必要となっています。

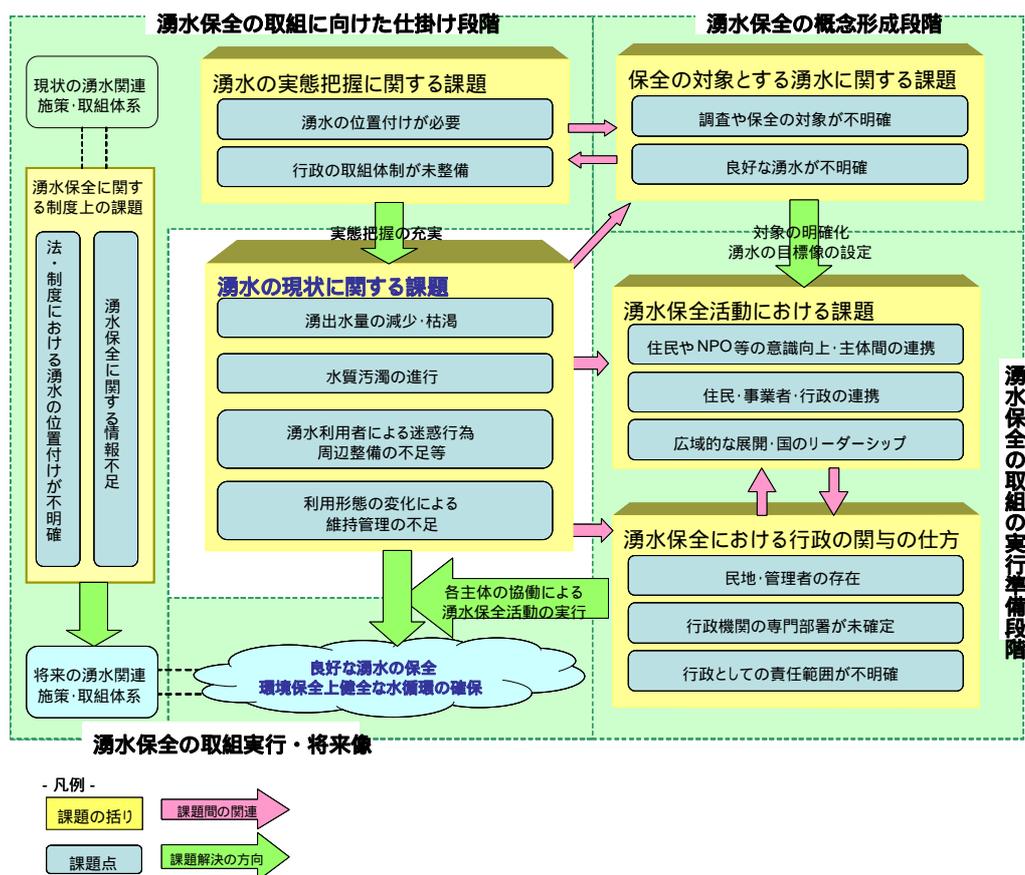


図 湧水に係る現状からみた課題の関連と解決の方向（イメージ）

## (2) 湧水保全に関する今後の方向性

この調査によって明らかとなった課題点に関して湧水保全に関する今後の方向性との関連を整理すると次図のようになります。今後は、保全の対象とする湧水や湧水保全のあり方に関する検討を行い、湧水の把握方法や湧水保全活動の活性化について、具体的なマニュアル整備を行う必要があります。

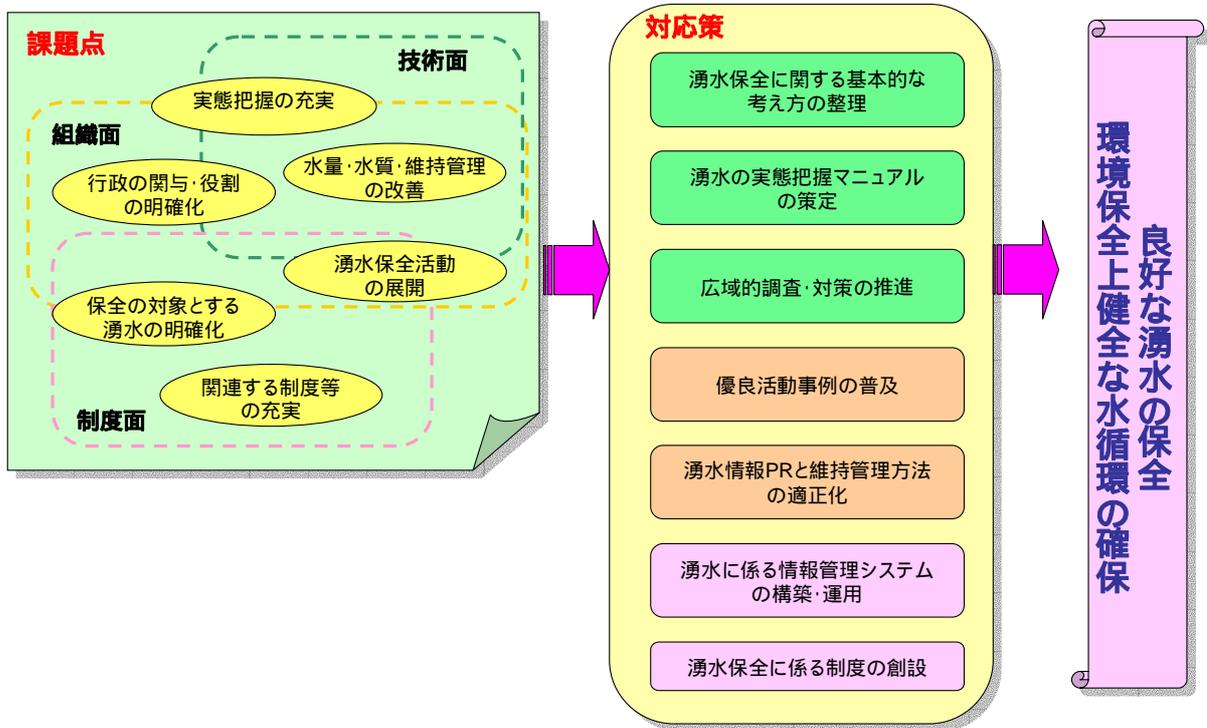


図 湧水に関する課題点と対応策の関連